

## 校長あいさつ

本校は、昭和52年（1977年）4月に宮古群島全域を学区として、知的障害児教育を行う沖縄県立宮古養護学校として開校しました。その後、平成21年に宮古特別支援学校に校名変更、翌平成22年にはこれまでの知的障害に加えて視覚・聴覚・肢体不自由・病弱を含めた5障害種に対応する特別支援学校として教育実践に取り組んでいます。

令和6年度の在籍数は幼稚部5名、小学部42名、中学部18名、高等部25名で合計90名となっています。スクールバス2台を運行、寄宿舎も設置する学校です。

宮古島市平良の市街地からは少し距離がありますが、広大な敷地に立地しています。全校舎とも1階建てのバリアフリーとなっており、廊下は車椅子がゆったりと通行できるスペースが確保されています。また、校内には色鮮やかな南国の花が咲きほこり小鳥のさえずりが聞こえ、窓からは伊良部大橋が見渡せ、野田の森が隣接している自然豊かな教育環境にあります。その環境の中で、子ども達はのびのびと学校生活を過ごしています。「元気・笑顔・自立」を校訓とし、幼児児童生徒一人一人の障害の状態や特性等に応じた教育を行い、自立と社会参加を目指しています。

本校は、宮古地区の特別支援教育における「センター校」としての役割を担い、本校で学ぶ幼児児童生徒はもとより、未就学児を含めた地域で学ぶ子どもたちや保護者、保育所や幼稚園、小中高等学校、福祉関係機関等との連携も図るなど、地域に根ざした学校として「開かれた学校づくり」「魅力ある学校づくり」「信頼される学校づくり」に取り組んでいます。

令和8年度には学校創立50周年の節目を迎えます。これまでの歴史に学び、新しい時代のニーズに応えるため、職員研修等を通してさらなる専門性の向上に努めるとともに、幼児児童生徒一人一人の成長と卒業後の充実した生活の実現に向け、職員一同、心を一つにして日々教育活動の充実に努めてまいります。保護者、地域、関係機関の皆様、今後ともご指導・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

令和6年4月

沖縄県立宮古特別支援学校

校長 濱元 伸